

「おおいた林業アカデミー」への職員派遣

令和3年10月11日、大分森林管理署は民国連携関連の事業として、大分県からの要請を受け、新規林業就労者を育成する「おおいた林業アカデミー」へ職員を派遣し、講義等を行いました。「おおいた林業アカデミー」は林業に就労を希望する新規の研修生を毎年募集し、林業に必要なチェーンソー技術等を1年かけて習得させる機関です。

午前中は、森林技術指導官、主任森林整備官、総括森林整備官が講義を受け持ち、大分森林管理署の紹介と林業の現状と課題について、森林計画と立木販売について、森林整備事業（活用型）について国有林の現在行っている事業を中心に講義を行いました。研修生からは、大分署が実施している大苗植栽のコストや生産性を上げるための方法等について質問がありました。



午後からは現在実行中の保育間伐活用型の請負事業箇所へ移動し、ウインチでの集材作業及びハーベスタでの造材作業等を見学しました。研修生からは始業時間や作業配置のやり方など実際の作業の現状について多くの質問がありました。

